



平成27年9月2日(水)徳島グランヴィリオホテルにおいて、平成27年度第3回目となる本部研修会が開催されました。

厚生労働省の発表によると、日本人の平均寿命は、男性80.5歳、女性86.83歳で、いずれも過去最高を記録し、女性は3年連続世界一となっています。また、2025年には認知症の患者数が700万人を突破する見込みで、65歳以上の5人に1人が認知症に罹患する計算となります。

こうした中、判断能力が低下している方が依頼者となる不動産取引が、今後増えると予想されることから、テーマを「認知症」とし、あいざとパティオクリニック院長の吉田成良氏を講師に迎え、ご講演いただきました。

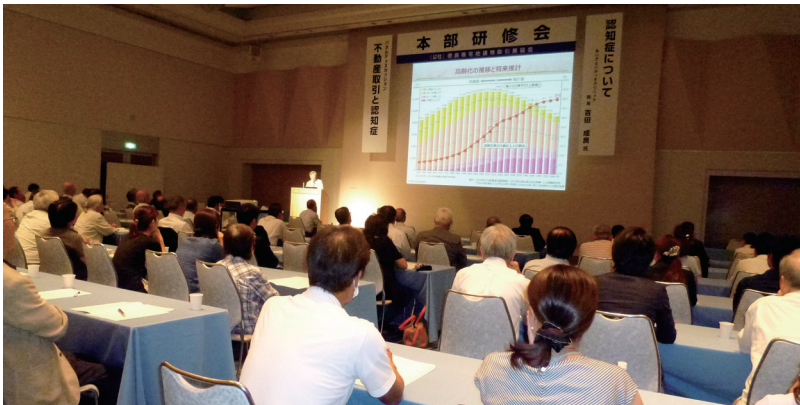
その後、「不動産取引と認知症」をテーマに種々のケースを想定し、さらに検証を交えた有識

**<研修テーマ・講師>**

**講演**  
 テーマ：「認知症について」  
 講師：あいざとパティオクリニック  
 院長 吉田 成良氏

**パネルディスカッション**  
 テーマ：「不動産取引と認知症」  
 パネリスト：医師 吉田 成良氏  
 弁護士 田中 浩三氏  
 司法書士 森 廣一氏  
 司会進行 木村 正美 当協会長

者4名でのパネルディスカッションを行いました。超高齢化社会化に伴い、身近に起こり得る問題といったこともあり、受講者は最後まで熱心に耳を傾けていました。



講演「認知症について」



あいざとパティオクリニック  
 院長 吉田 成良 氏



パネルディスカッション



パネリストの方々